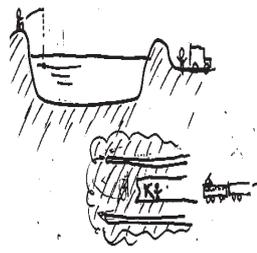




アイスクャンディーのダムで水が洩れ始めたら

福島原発は地中に凍土壁を作って地下水の流入を止める計画が進められている。

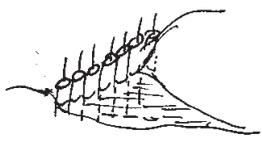
凍結でトンネル掘削



都会の川底は軟弱だからトンネルを掘ろうとしてもすぐ崩れる。そこで地面を凍結させ、氷の中で地下鉄のトンネルを掘る。

凍土壁のアイデア

地面に小さな穴を掘りパイプを打ち込み、それに零度以下の液を



流して地面を凍らせる。地面に巨大なアイスキャンデー

ーを突き立ててダムとするのが凍土壁。つまり、アイスクャンディーのダムで温かい地下水を溜める。冷凍管のすぐそばは硬く凍る。しかし、離れるとだんだん融けて来る。もし、穴が出来たらどうなるか？初めは地下水位も低く水圧は低い。溜まると水圧は高くなる。その勢いで温かい地下水が流れ穴はどんどん大きくなる。でも地下だから、誰も分からない。現在、凍土壁を作ろうとしてトレンチ部分が凍らないでつまづいている。凍土壁に穴ができた状態がトレンチ。いったん穴が開き、流れ始めると止めようの無いことを証明しているのではないか。みなさんはどう思われますか？



モルゲンロート

長野県野沢温泉村

二〇一四年六月



梅雨の合間に関越道を走った。清水トンネルを抜けると新潟県。峠を越えて信濃川の谷に入るとをJR飯山線の走る豪雪地帯。

民宿モルゲンロートの一階はコンクリート造り。玄関と車庫がある。豪雪で冬、一階部分は雪の下。だから食堂は二階だ。現代では道は除雪されるが、周囲の雪は一階を覆い尽くす。車庫に燕が巣を建設中だった。

野沢温泉村には十三の外湯がある。その一つ「秋葉の湯」は宿の目と鼻の先。四十二、四度の熱いお湯。超熱く長湯はできないが、出た後のさっぱり感がすばらしい。

宿の主人は野沢に生まれ野沢の自然をこよなく愛する森の案内人。東京から嫁いだという奥さんは、温泉で野沢菜を洗い漬けている。